

開催日 年 月 日 催物名

主催者名

運営責任者氏名

### 収容率及び人数制限の緩和を適用する場合の条件 チェックリスト(音楽文化会館11月8日版)

当面的間、観客に大声での歓声・声援等がないことを前提としうる場合（詳細は別紙2参照）、国が示した感染防止策の徹底等を前提に100%以内の収容が可能となります。

この場合、イベントの主催者は、下記の感染防止策の徹底を図るとともに、このチェックリストを事前に会館に提出して、イベントの主催者と会館の双方において、十分に確認を行ってください。

#### (1) 徹底した感染防止等（収容率50%を超える催物を開催するための前提）

チェック	項目	ポイント
	①適切なマスク着用徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスク着用状況を確認し、個別に注意等を行い、マスクの常時着用を求める。</li> <li>※マスクを持参していない者がいた場合は主催者側で配布・販売を行い、マスク着用率100%を担保。</li> </ul>
	②大声を出さないことの担保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大声を出す者がいた場合、個別に注意等を行う</li> <li>※隣席の者との日常会話程度は可（マスクの着用が前提）</li> <li>※演者が発声する場合には、舞台から観客まで一定の距離を確保（最低2m）</li> <li>※大音量のBGMは大声での会話を誘発する可能性があるため、BGMの音量を上げすぎないように留意する。</li> </ul>

#### (2) 基本的な感染防止等

チェック	項目	ポイント
	③手洗の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こまめな手洗の徹底を促す。</li> </ul>
	④消毒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主催者側による施設内（出入口、トイレ、ウイルスが付着した可能性のある場所等）のこまめな消毒、消毒液の設置及び、手指消毒を促すこと</li> </ul>
	⑤換気	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こまめな換気（1時間に2回以上、1回に5分間以上。または室温が下がらない範囲での常時窓開け）</li> <li>・乾燥する場面では湿度40%以上を目安に加湿</li> </ul>
	⑥密集の回避	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入退場時の密集回避（時間差入退場等）、待合場所等の密集回避</li> <li>※必要に応じ、人員の配置、導線の確保等の体制を構築するとともに、入場口・トイレ・物販等の密集が回避できない場合はそのキャパシティに応じ、収容人数を制限</li> </ul>

	⑦身体的距離の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大声を伴う可能性のあるイベントでは隣席との身体的距離の確保。具体的には、同一の観客グループ間（5名以内に限る。）では座席を空けず、グループ間は1席（立席の場合1m）空ける。</li> <li>・ 混雑時の身体的距離を確保した誘導、密にならない程度の間隔（最低限人と人が触れ合わない程度の間隔）</li> </ul>
	⑧飲食の制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飲食用に感染防止策を行ったエリア以外での飲食の制限</li> <li>・ 休憩時間中及びイベント前後の食事等による感染防止の徹底</li> <li>・ 過度な飲酒の自粛</li> <li>・ 食事は長時間マスクを外すことが想定され、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、収容率が50%を超える場合、飲食可能エリア以外（例：観客席等）は原則自粛。</li> </ul>
	⑨参加者の制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入場時の検温、入場を断った際の払い戻し措置</li> </ul> <p>*ただし、発熱者・有症状者の入場は断る等のルールをイベント開催前に明確に規定し、当該規定を十分周知している場合は払い戻し不要。</p>
	⑩参加者の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 座席指定、動線確保などの適切な行動管理</li> <li>・ 可能な限り事前予約制、あるいは入場時に連絡先の把握</li> <li>・ 接触確認アプリ（COCOA）のダウンロード推奨や各地域の通知サービスの登録・利用者のQRコード読取奨励（アプリのQRコードを入口に掲示すること等による具体的な促進措置の導入）</li> </ul>
	⑪演者の行動管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有症状者は出演・練習を控える。体調が悪いときは医療機関等に適切に相談</li> <li>・ 演者と観客が催物前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じるとともに、接触が防止できないおそれがあるイベントについては開催を見合わせる。</li> <li>・ 合唱等、声を発出する演者間での感染リスクへの対処</li> </ul>
	⑫催物前後の行動管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベント前後の感染防止の注意喚起</li> </ul> <p>*可能な限り、予約システム、デジタル技術等の活用により分散利用を促進</p>
	⑬ガイドライン遵守の旨の公表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主催者及び施設管理者が、業種別ガイドラインに従った取組を行う旨、HP等で公表</li> </ul>

### (3) イベント開催の共通の前提

チェック	項目	ポイント
	⑭地域の感染状況に応じた対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大規模イベントは、事前に収容率制限等も含めて都道府県と相談</li> <li>・ 地域の感染状況の変化があった場合は柔軟に対応</li> </ul>